

21.5.29

佐倉市

## 教育センターだより

Vol.18

平成21年5月29日発行／佐倉市教育センター／TEL. 043 (486) 2400 <http://www.city.sakura.lg.jp/kyoikucenter/index.htm>

## 佐倉の子供たちの力を育てるために

所長 佐久間 保男

このたびの人事異動により、センターの任務に就くことになりました佐久間です。佐倉市教育センターは、平成15年4月に開所して以来、7年目を迎えました。初代大野所長を核とした4年間の着実な調査研究の積み重ねと、それを引き継ぎ、教育センターの機能を高めるために奔走した2代杉本所長の後を継ぎ、今後、更なる発展充実のために微力ではありますが、がんばりますのでよろしくお願いいたします。特に、市内の幼・小・中学校及び関係各機関と連携を図りながら、「佐倉の子供たちの育成」という視点で、運営を行っていきたいと考えています。

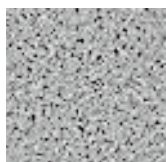
教育センターの業務については、各方面のご協力をいただきながら、各種の調査研究を行い情報提供したり、結果分析による対応策・改善のための提言を可能な限り示したりしています。できるだけ多くの方に実践していただき、教育活動に生かしていただける内容になるようにしていきたいと考えています。また、教育相談の充実にも取り組んでいます。困りごとがあった時には、気軽にご連絡をお願いします。

話は変わりますが、4年前に発行された冊子が出てきました。その中に、「5年生の『三角形の面積』を学習

## 《問題》

上から見ると正方形をしたチョコレートケーキがあります。

このケーキには、周りの部分にチョコレートがぬってあります。これを3等分します。どのように分ければよいでしょう。



した後で扱うとおもしろい授業のネタである。」ということで、左のような問題が紹介されていました。一見すると簡単そうに見えますが、問題の中にあるように周りの部分にぬられているチョコレートが厄介です。面積だけの問題であれば、縦か横に3等分すればよいのですが…。

この問題を紹介した先生は、「面積も3等分、周りの長さも3等分するところにこの問題の難しさがある。だからこそ“考える”価値、“悩む”価値があるし、解決した後に“喜び”“満足感”がある。」と指摘しています。私は、この問題を子供たちに解かせてほしい訳ではありません。指導者側が常に育てたい力を意識し、教育活動のプロセスを構築し、実践し、子供たちに満足感や自信を得るように取り組んでいるのかということを考えていただきたいのです。原点は、佐倉の子供たちに力をつけていくことだと思います。そのためにセンターが取り組むべきことは……。大きな課題です。(時間がある時に問題に挑戦してください。解答は、次回掲載。)

\*問題は「たのしい学校」2005春号〈大日本図書から〉問題作成は、現國學院大学人間開発学部教授 滝井章氏。

## 平成21年度の主な年間計画

- |    |  |     |   |
|----|--|-----|---|
| 4月 | 教育相談開始<br>調査研究リーフレットVol. 5 発行                            | 9月  | 全国・学力学習状況調査の佐倉市の分析<br>佐倉市教育センターだよりVol. 19発行       |
| 5月 | 教育課題検討委員会(年2回)<br>教育相談基礎講座(年4回)<br>佐倉市教育センターだよりVol. 18発行 | 10月 | 千葉県教育研究所連盟研修会(年4回)<br>家庭学習に関する実態調査<br>新教育課程に関する調査 |
| 6月 | 佐倉市学習状況調査作成委員会(年4回)<br>佐倉市教育センター連絡会議(年6回)                | 12月 | 佐倉市学習状況調査(～1月)                                    |
| 7月 | 市民の教育に関する意識調査チーム会議(年2回)<br>佐倉学道徳副読本編集委員会(年3回)            | 1月  | 佐倉市教育センターだよりVol. 20発行<br>調査研究リーフレットVol. 6 発行      |
|    |  | 2月  | 佐倉市教育センター等報告会                                     |
|    |  | 3月  | 佐倉市教育センター紀要発行                                     |

# 基礎学力向上のための指導のポイント

平成20年度 「佐倉市学習状況調査」の結果から

佐倉市では、市内の全小中学生を対象に、学習状況の現状と課題を明らかにし、各学校が基礎的、基本的な学習内容の確実な定着を目指し指導内容や方法、評価の工夫改善を図るための資料を得ることを目的として、学習状況調査を実施しています。平成20年度の調査結果から、特徴のあるデータの一部を紹介し、基礎学力向上のための指導のポイントについて述べたいと思います。

## 小学校国語

### 送り仮名のある漢字の指導がポイント！

学年	問題	正答率	主な誤答例
2年	頭を <u>下</u> げる	76. 6	下る
3年	家に <u>帰</u> る	71. 2	帰える
4年	<u>寒</u> い冬が来る	59. 2	その他の誤答
5年	明るく <u>照</u> らす	79. 9	照す
6年	三時を <u>過</u> ぎる	74. 5	無解答

漢字辞典に関する問題	正答率
部首を見つけ画数を数える	82. 0
引き方に応じた索引を選ぶ	84. 7

小学校国語の漢字を書く問題で正答率の低かった問題は、左に示したとおりです。送り仮名のある漢字につまずきが多いことがわかります。とくに、漢字そのものの間違いではなく、送り仮名の間違いが目立ちます。

漢字練習はどの学校でも工夫して取り組んでいることと思いますが、例えば、例文の中で送り仮名も一緒に書かせるようにし、送り仮名にも意識を持たせることが大切です。また、漢字に振り仮名をつけさせて読みの練習も兼ねるのもよいことです。漢字だけを機械的にたくさん書かせる練習は好ましくありません。

さらに、漢字辞典を引く活動を積極的に取り入れ、漢字の成り立ちや意味を調べたり、画数や部首の確認をしたりすることも重要です。漢字辞典を正しく引く練習にもなるので、新出漢字の練習では、ぜひ取り入れてほしいです。

2割近くの児童が、漢字辞典の引き方の基本的事項を正しく理解していません。

## 小学校算数

### 繰り下がりのあるひき算の指導がポイント！

学年	問題	正答率	主な誤答例
1年	$17-9$	96. 4	7
2年	$86-29$	89. 7	53
2年	$121-43$	87. 7	82
3年	$403-276$	85. 7	733
3年	$100-77$	83. 6	33
4年	$8-1. 3$	81. 3	7. 3
4年	$735\div 7$	77. 5	150
5年	$3\div 0. 6$	70. 0	0. 5
6年	$3\div 1\frac{1}{4}$	77. 2	$1\frac{1}{12}$

小学校算数の調査問題で正答率の低かった問題は、左に示したとおりです。中学年まではひき算、高学年ではわり算でつまずきが多いことがわかります。小学校2年生でかけ算が加わりますが、かけ算の正答率は高いです。

誤答例を分析すると、繰り下がりのあるひき算で、1の位の数字が引かれる数より引く数の方が大きい場合、大きい数字から小さい数字を引いてしまっていることが多いことがわかります。(2年生の $86-29$ で $9-6=3$ としています。)

繰り下がりのあるひき算でのつまずきが、わり算の筆算にも影響を与えているものと考えます。

繰り下がりのあるひき算をしっかり身につけさせるためには、まず、基本である10の合成分解の意味が理解できるまで、くり返し指導する必要があります。具体物を利用して算数的活動を十分にを行いながら、ていねいに指導することがポイントです。

## 中学校国語

### 生徒が普段あまり使わない漢字の指導がポイント！

学年	問題	正答率	主な誤答例
1年	洗練された文章	43. 4	無解答
2年	大会で惜敗した	16. 3	がんばい
3年	朗らかな歌 声が響く	31. 6	無解答

中学校国語の問題で正答率が低かった問題は、左に示したとおりです。読み・書きともに、生徒が普段あまり使わない漢字につまずきが多かったことがわかります。また、無解答が多く、わからない問題に対してあきらめてしまっているところにも課題があります。漢字の書きは「中学校学年別配当漢字の範囲表」から出題されています。各学校において十分活用していただきたいです。

漢字の読み書きは、国語の授業や漢字練習だけで身に付くものではなく、普段からできるだけ使う機会を増やすことが重要です。国語の授業においては、定着度を確認するミニテストを実施したり、定着度の低い漢字をさらに抜き出して指導したりする必要がありますが、国語以外の授業においても、ノート指導をていねいに行うことにより、漢字を正確に書くよう指導することが望まれます。

## 中学校数学

### 文字式の計算についての指導がポイント！

学年	問題	正答率	主な誤答例
1年	$(8x+5)-(4x+3)$	51. 3	$4x+8$
2年	$9x-3y=6$ を $y$ について解く	52. 9	無解答
3年	$49x^2-25y^2$	69. 7	無解答

中学校数学の問題で正答率が低かった問題は、左に示したとおりです。中学校では、抽象的な考え方をを用いる場面が小学校より多くなってくるうえ、負の数や平方根の導入など、数の世界が大きく広がることからつまずきが多くなることがわかります。

算数・数学は積み重ねの教科であり、学び直しを意識した授業を展開することが大切です。文字式の計算については、できる限り具体物を用いて、ていねいに指導していくことが望まれます。とくに、1年生の指導においては、小学校の指導との連携を重視し、生徒がギャップを感じないよう、配慮しながら、「等式の性質」など、基本的事項を確実に理解させることが重要です。

## 中学校英語

### 「読むこと・書くこと」についての指導がポイント！

学年	問題	正答率	主な誤答例
1年	When is (his) birthday.	40. 7	hes
2年	Mary called me (when) I was Studying.	45. 2	その他の誤答
3年	Ms.King is a teacher (who)is from Canada.	58. 1	無解答

中学校英語の問題で正答率が低かった問題は、左に示したとおりです。適語補充の問題で正確に単語を書けないためのつまずきが多かったことがわかります。その他の誤答や無解答が多いことも課題です。

新学習指導要領においては「聞くこと」「話すこと」と合わせて「読むこと」「書くこと」についても外国語の目標に明記されました。コミュニケーション能力の基礎を養ううえで、「読むこと」「書くこと」についても重視して指導する必要があります。

生徒の実態をできるだけ正確に把握し、各学年で身につけなければならない基本的文法事項について、ていねいに指導するとともに、じっくり振り返る時間を定期的に設けることが大切です。

基礎学力向上のためには、対象の学年や教科担当に任せるのではなく、学校全体で組織的に取り組むことが大切です。教育センターでも、各学校における分析や具体的手立ての作成に、積極的に協力していく所存です。

(西村 隆徳)

# 佐倉市の教育相談活動

## 教職員の皆さん、こんなことでお困りではありませんか？

- ☆ なかなか学校に来られない子を担任して悩んでいます。
- ☆ 「落ち着きがなくて座ってられない」「友達とすぐけんかになってしまう」「漢字がなかなか覚えられない」「計算が苦手」「板書をノートに書き写せない」「勉強についていけなくなっている」など気がかりなところがあります。どのような支援をしたらよいのかと悩んでいます。



佐倉市教育センターでは、不登校児童生徒に対する支援活動や発達相談の充実を図っています。教職員の皆さんは、まず、校内の管理職や特別支援コーディネーターに相談してみましょう。必要に応じて教育センターに連絡を取り、児童・生徒によりよい支援ができるようにしてください。そのために教職員の皆さんにも佐倉市の教育相談活動の内容やしくみの概要を理解しておいていただきたいと思います。

## 教育センターではどんな対応をしているの？

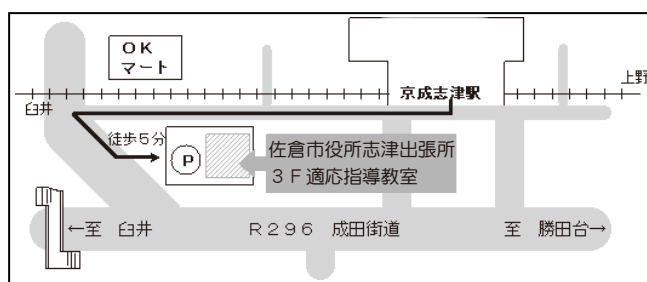
### 不登校傾向のある児童・生徒への支援の場として

保護者の方や学校と連絡を取り合い、適応指導教室への通級を通して支援しています。教育相談や学習支援、グループ活動を通し、学習や集団生活への適応を促し、学校復帰に向けての支援を行っています。学習活動だけでなく軽スポーツやレクリエーション、作業活動、体験活動等も行っています。

学校から保護者の方に適応指導教室の紹介をする場合には、まず教育センターに連絡をとるように伝えてください。適応指導教室通級中の児童・生徒の活動に支障がないように、教育センターの教育相談担当が調整を図り、見学や体験がスムーズに行えるようにしています。

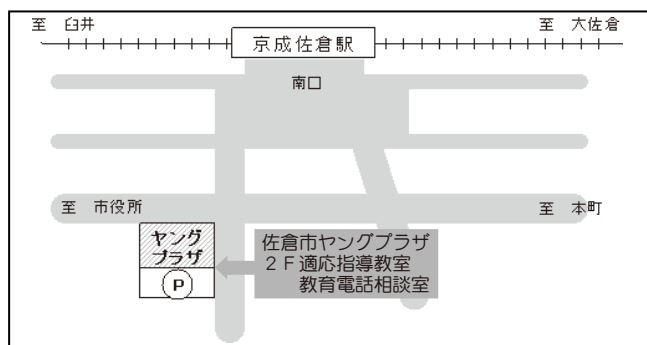
#### 適応指導教室（志津教室）

- 開設日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）  
午前9時～午後4時
- 所在地 佐倉市上志津1672番地  
(佐倉市役所志津出張所3階)
- 電話 043-489-1002



#### 適応指導教室（佐倉教室）。教育電話相談室

- 開設日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）  
午前9時～午後4時
- 所在地 佐倉市栄町8番地6  
(佐倉市ヤングプラザ2階)
- 電話 043-484-6611



☆どちらの教室でも交代制で学校教育相談員が常時指導にあたっています。通級児童・生徒の活動時間は午前10時～午後3時です。



《教育電話相談室では》

大人、児童・生徒本人からの教育全般に関する相談を幅広く受け付けています。電話だけでなく面接による相談にも応じています。

## 教育的ニーズに応じた支援をするために

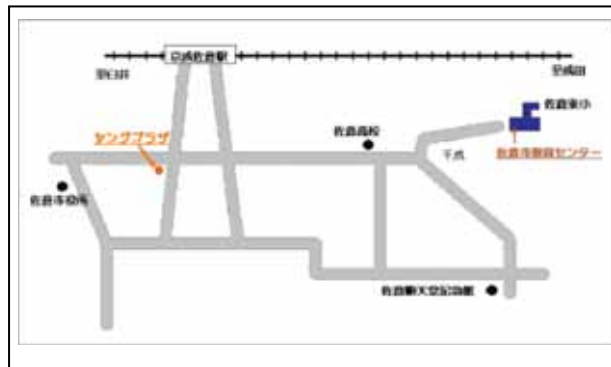
### 発達相談

- 相談日 月曜日～木曜日（祝日、年末年始を除く）  
午前10時～午後5時
- 所在地 佐倉市将門町7番地（佐倉市教育センター内）
- 電話 043-486-2400
- 活動内容

発達障害がある（または疑われる）ために不適応を起こしている幼児、児童・生徒を支援していくために、保護者や学校からの電話相談を行っています。また、必要

に応じて面談及び学校や園等への訪問を行っています。学校側からの要請に応じて対応する場合もありますし、保護者からの依頼に応じて、学校教育相談員の方から学校と連絡を取り、学校の様子を見に行ったり、担任の先生と相談したりすることもあります。臨床発達心理士やことばの専門家が学校教育相談員として支援にあたります。面談の場所は教育センターに限らず、相談者と都合を合わせ、学校やヤングプラザ、志津適応指導教室で行うこともできます。面談や検査を受けて個別のサポートファイルを作成し支援の充実を図っています。

昨年度のニーズの多さから、今年度は発達相談員を1名増やし、担任や保護者の幅広いニーズに対応できるようにしています。



## 21年度学校教育相談員紹介

### ○適応指導教室

（志津教室・佐倉教室）

- ・中道睦子・津田みつ子
- ・渡邊久子・中嶋雅子

### ○教育電話相談室

（ヤングプラザ内）

- ・田中弘枝・大塚準吉
- ・土肥嘉子

### ○発達相談

（教育センター内）

- ・滝口直美
- ・濱野輝子



### 教育相談担当者の声



早いもので、佐倉市で発達相談を開始してから1年がたちました。無我夢中で走り続けてきた感じが、今年度は地に足をつけて、じっくりと相談にあたれるとよいと思っています。

昨年度の相談依頼のほとんどは、心理検査を実施し、お子さんの抱えている困難さについて学校と家庭とで共通理解を図るというものでした。その後の経過はどうでしたでしょうか？具体的な支援の手立てがたてられたのでしょうか？今年度は実態把握で終わりにならないように、継続したお手伝いもできればと思っています。

（発達相談担当 滝口 直美）

不登校や発達に関する問題については、先生方も対応に苦慮し、悩んでいることが多いのではないのでしょうか。教育センターでは、保護者や児童生徒本人との面談を実施し、適応指導教室への通級に向けた相談を受け付けています。また、発達相談担当の学校教育相談員とも常に連携を取り合い、先生方の相談に対応できるようにしています。一人で問題を抱え込まずに、教育センターに気軽に相談していただきたいと思います。保護者の方々にも教育センターを紹介していただければ幸いです。

（21年度センター教育相談担当 西村 隆徳）

# 「さくら」学びの窓

よりよく生きる児童を育てる道徳教育

～心に響く道徳授業と豊かなふれあいを生かして～

佐倉市立染井野小学校

染井野小学校では、前年度の課題から、「体験活動の内容を見直し、他者とのかかわりをより深める」「ねらいとする価値に、より迫ることができる道徳授業の工夫」「共感的理解を基盤とした道徳の時間における評価」という3つの観点から主題を設定して20年度の実践を行いました。

月	意識の涵め	総合的な学習の時間	道徳授業	教科・特活等
11月		総合的な学習の時間 チュールップ植え(校外活動) ＜道徳的ねらい＞ 佐倉市チュールップ祭のために球根を植える。元気に育つように願いを込めて植えることで、花を大切にしようとする心を育てる。		学級行事 10周年記念イベント ＜道徳的ねらい＞ 和楽器の音楽や日本の伝統的な踊りに触れ、日本の文化を大切にしようとする心を育てる。
1月		総合的な学習の時間 国際理解 ＜道徳的ねらい＞ 日本の生活文化や外国の生活文化に関心をもち、外国のよさを進んで見つけようとする心を育てる。	道徳 4-(6) 愛国心 日本のおべん当 日本の食文化の良さを知り、日本の文化を愛し、大切にしようとする心を育てる。 心のノート P 86～89	学級活動 6年生を送る会を育てよう ＜道徳的ねらい＞ 卒業式に飾る花を育てることで、卒業を祝い、6年生に対する感謝の気持ちを育てる。
2月		総合的な学習の時間 郷土や日本のことを知ることができてよかった。	道徳 4-(6) 郷土愛 郷土の文化や伝統を大切に、郷土を愛する心を育てる。 心のノート P 82～85	
3月		総合的な学習の時間 日本についていいな、佐倉についていいな、染井野についていいな。 日本のよさを考えよう ＜道徳的ねらい＞ 日本の文化や伝統の良さを知り、大切にしようとする心を育てる。	道徳 4-(4) 愛校心 かべにつけた手のあと 毎日生活している学校を大切にしようとする心を育てる。 心のノート P 78～79 道徳 2-(4) 尊敬・感謝 校門前の道 献身的に生活を支えてくれている人の苦勞を知り、尊敬と感謝する気持ちを育てる。 心のノート P 46～49	児童会活動 6年生ありがとう集会 ＜道徳的ねらい＞ 6年生に感謝の気持ちを表すために自分に出来ることを進んで考え行動しようとする態度を育てる。 児童会活動 6年生を送る会 ＜道徳的ねらい＞ 6年生に感謝の気持ちを表すために自分に出来ることを進んで考え行動しようとする態度を育てる。

豊かなふれあいを生かすための総合単元的道徳学習計画を作成し、道徳の時間を中核とした他教科・領域との連携や体験的活動を生かした学習の充実に努めています。

## 道徳通信

H20.7.30  
NO.7  
染井野小学校道徳部

29日に富里市教育講演会に参加させていただき、昭和女子大学の教授である押谷由夫氏の講演を聴いてきました。その内容を簡単にお知らせします。詳しい内容を知りたい方は声を掛けてください。

『これからの道徳の進め方 ～新学習指導要領の趣旨を踏まえて～』

1. 改正教育基本法の強調点

(1) 人格の育成  
人格の育成が生徒にわたる学習目標として、また教育の出発点である幼児期の教育から中核として強調されている。

(2) 学校、家庭、地域の連携  
家庭教育の役割を強調し、学校・家庭・地域連携協力による教育を重視。

(3) 学校の役割  
学校教育における社会的自立の基礎の育成と規範意識の育成を強調。

2. 学校における道徳教育をどう押さえるか

☆生き方の自立を柱に生活の自立、学習の自立を図るのが道徳教育

＜生き方の自立＞

- ・生きる意味の自覚
- ・道徳的価値の探究
- ・生きがいの感得と確立

＜生活の自立＞

- ・生活習慣を身につける
- ・生活を楽しむ
- ・生活を創る

＜学習の自立＞

- ・学習の理解、習得
- ・学習を楽しむ
- ・学習を創る

3. 子どもを信頼し心を込めて関わり続けよう 【先生方へのメッセージ参照】

(1) 子どもへの絶対的信頼感……子どもたちはよりよく生きようとしているし必ずよくなる。

(2) 愛情のある関わり

(3) 教師(大人)自身の忍耐力と力量と協力体制の確立

4. 人間の尊厳性を自覚できるようにしよう

(1) 人間として存在することのすばらしさを実感……よりよく生きる

(2) 人間が創り出した文化のすばらしさを実感……価値や美、知恵の実現、具体化

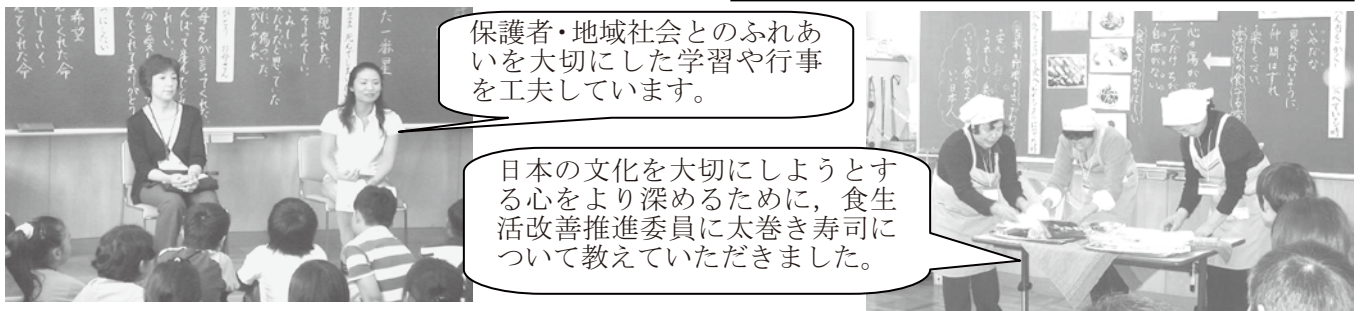
(3) 人間の生命の弱さや強さ、もろさと強さを踏まえた課題を実感……弱さやもろさがあることも人間のよさ

5. 新学習指導要領における道徳教育はどのように進めるか

(1) 全教育活動における道徳教育の充実  
国語科「言語文化」、社会科「我が国の伝統や文化」、理科「生命・地球」、音楽「音楽づくり」「音楽文化」、図工「造形体験」「美術文化」、家庭科「自己と家庭、家庭と社会のつながり」体育「武道」など直接道徳性の育成に関わる内容の充実

研究推進にあたって、「道徳通信」を発行して全教職員の共通理解、研究内容の浸透を図っています。講演会や研修会の情報をわかりやすく伝えたり、心のノートの活用例を紹介したりしました。

授業の資料やワークシート等については、学年に応じて「心のノート」「道徳ノート」の巻末に添付して保存し、自己の成長を振り返れるようにしています。



保護者・地域社会とのふれあいを大切にした学習や行事を工夫しています。

日本の文化を大切にしようとする心をより深めるために、食生活改善推進委員に太巻き寿司について教えていただきました。

## 編集後記

今回は、1月に公開研究会を行った染井野小学校の研究の一端を『「さくら」学びの窓』として紹介させていただきました。今年度も市内の各小中学校の実践をセンターだよりで紹介させていただきます。紙面が限られていて十分な紹介ができないのが残念ですが、参考にしたいところについて情報を交換し合い、互いに高め合うことができるよう願っています。

今回紹介させていただいた染井野小学校の指導案(昨年度分全6冊)等は教育センターの資料室にも保管してあります。

新しい教育課題に関する資料収集、資料室や教育相談の充実にさらに努めていきます。

平成20年度末の人事異動に伴い、相蘇重晴指導主事に替わり、小川英昭指導主事が着任しました。今年度も佐倉市教育センターへのご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。(松橋 明子)

